

令和5年度

スタートカリキュラム



千歳市立北進小中学校

スタートカリキュラムとは・・・

小学校に入学した児童が、幼稚園・保育園・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

なぜ、スタートカリキュラム？

幼児期の「学びの芽生え」と児童期の「自覚的な学び」をつなぐのがスタートカリキュラムです。北進小学校の子どもは幼児期の学びの芽生えがゆっくりで、個人差が大きく、断片的であることが特徴としてあります。そのため学びのスタートは個の実態に応じ、9年間の連続性の中で培っていきます。

やってみると、こんないいことが・・・

【他学年の児童にとって】

- 1年生のよさが分かり、一人一人を大切にする気持ちが育ちます。
- 上級生としての自覚と責任感が生まれます。

【担任にとって】

- 一人一人の見方や指導観が変わる。
- 特別な教育的支援が必要な児童にとっても効果的な学習となる。

【保護者にとって】

- お子様の学びの見通しがもて、安心して学校に送り出せます。
- 児童が自ら成長する姿を通して家庭でさせるとよいことがわかります。

【学校にとって】

- スムーズに小学校生活に適応し、意欲と笑顔にあふれる学校となる。
- 9年間を見通した義務教育全体の改善につながる。

幼児期 学びの芽生え

【幼児期の中に芽生える学び】

1. 健康な心と体
2. 自立心
3. 協同性
4. 道徳性・規範意識の芽生え
5. 社会生活との関わり
6. 思考力の芽生え
7. 自然との関わり・生命尊重
8. 数量・図形、文字等への関心・感覚
9. 言葉による伝え合い
10. 豊かな感性と表現

スタートカリキュラム

安心

安心して、小学校のスタートが切れるようにしていきます。

成長

自信や意欲をもって活動できるように自己肯定感を育みます。

自立

幼児期に経験した「学びの自立」「生活上の自立」「精神の自立」を基に個の実態に応じて児童の主体性を育てます。

児童期 自覚的な学び

【児童期の中に成長する学び】

1. 学ぶことへの意識の高まり
2. 時間の区別
3. 課題解決に向けた計画的な学び
4. 自立活動・生活単元学習・各教科などの学習
5. 経験・体験を基にした確かな生活力
6. コミュニケーション能力向上と他者との関わり
7. 系統的に学ぶために工夫された学習環境

友達できるかな？

学校ってどんなことをするのかな？

知らない場所が不安だな。

今までいろいろなことをしてきたよ。

スタートカリキュラム

やってみよう！

小学校も楽しいよ！

私たちにもできたよ！

だれかに伝えたいな！

1. スタートカリキュラムの全体構造図

I 北進小中学校の教育目標とめざす子ども像

1. 学校教育目標

『21世紀を、自分のよさを発揮し、

広く豊かに生きる子どもの育成』

たしかに学ぶ子 (知)

かかわりをもてる子 (情)

たくましく生きる子 (意・体)

学校見学・体験(随時)・幼児学級(2月)

【就学相談 随時】

・学校見学・学校体験(随時) 学校説明会

【幼児学級・2月】

・読み聞かせ、お絵かき等、保護者説明会

教育と福祉の連携

- 千歳市子ども部会との連携
トライアングルプロジェクトの推進
- 社会福祉協議会「チップ」
就学前児童の情報交流
・園や家での学びや生活の様子

教師による幼稚園・認定子ども園 通園センター訪問

- 子どもたちの活動を参観
- 幼稚園の先生と情報交流
・教育方針
・アプローチカリキュラム等
- 子どもの実態把握
・イエローファイル引き継ぎ・支援体制

生活体験を核とした学び

学びの芽生えから自覚的な学びへ

- 他教科との合科的・関連的指導
- 単元構成・指導計画の工夫
・指導の時期や指導方法の工夫
- 体験学習を中心とした学びの場
- 人との関わりを重視した活動
- 思考を促す学習活動

合同授業

- 合同音楽
・幼児期の歌や遊びを取り入れた学習活動・リトミック
- 合同体育
・遊びを取り入れた活動
- 小中一貫教育
・9年間の教育に向けた、小中合同学習(英語・行事)
- 各教科等の授業
・チームティーチングによる個別指導

情報交流

【就学前の幼児観察】

○見学・面談

【個別の指導計画作成】

○個別懇談(保護者)
・年間の長期目標
・前期・後期の目標設定

【個別の教育支援計画】

○イエローファイルの引き継ぎ
・短期目標の設定

スタートカリキュラム ~安心・成長・自立~

安心

- 幼稚園保育所の活動に近い学習の導入
- わかりやすく、学びやすい授業づくりと支援体制
- 安心や楽しさが生まれる環境づくり

成長

- 活動や体験を通して学びに向かう力を育む。
- 自分のもっている力を発揮できるよう挑戦の場を設定
- 自信や意欲が生まれる支持風土と適切な評価。

自立

- 自分で判断し行動できるように自立に向かう活動場面を設定
- 9年間の学びの基礎をしっかりと身につけさせる教育課程
- 夢や希望をもち、前向きに生活できるようキャリア教育の推進

2. スタートカリキュラム 9年間指導目標

ねらい 本校において確かな生活力を育むために、小学校就学前（通園センター、保育所、幼稚園）と小学校、さらに中学校が子どもの発達は連続しているという共通認識をもち、互いの違いと良さを学び、意図的・計画的な指導が行われるように学童期のカリキュラムを作成しました。また、9年間を見通し子ども達の実態を把握し、「めざす子ども像」へと導く指導の指針として「話す・聞く・書く力（たしかに学ぶ子）」「コミュニケーション能力（かかわりがもてる子）」「生活する力（確かな生活力・たくましく生きる子）」「運動機能（たくましく生きる子）」の4点を設定します。（スタートは個の実態によって異なります）

3つの重点	小学校			中学校			
	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ	ステージⅤ	ステージⅥ	
千歳市通園センター・保育所・幼稚園	（言語能力の育成） 話す・聞く・書く力	<ul style="list-style-type: none"> 目と手の協応 弁別・分類 マッチング 名詞の指示で物を取る。 絵本を楽しむ 音声模倣 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことの基礎 名詞の理解 名詞の複数指示 絵本紙芝居を楽しむ 自分の名前や身近な人の名前の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 動作語 語彙数を増やす 文字（ひらがな）理解 文字学習の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の読み書き 単語の読み書き 単文の読み書き かたかな 文字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> 言語指示の理解 物語文を読む 詩を読む 指示文を読む 作文指導 漢字の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 演技指導 場の雰囲気理解 地方によって違う言葉 慣用語の理解 説明文の理解 新聞・ニュースを読む
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> 音声模倣 指差し 身振りの理解 簡単な言葉掛けの理解 	<ul style="list-style-type: none"> 要求手段の使用 二つの言語指示 コミュニケーションに有用な言葉 挨拶、肯定、否定 自分の名前、身近な人の名前の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 発声、自己紹介、応答 身振りを使った表現 場に応じた話し方（挨拶） 自分の意思を伝える 質問の理解・会話を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 敬語の意味と種類 場に応じた会話の仕方 自分の意思を分かりやすく伝える 朝の会・帰りの会（挨拶） 休み時間 		
	（生活する力） （身辺自立）	<ul style="list-style-type: none"> 着替え・衣服の整理 排泄（マナー） 清掃・荷物整理 清潔 生活と約束 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の整理整頓 1日の生活（日課・予定） 集団行動（自分の役割り） 買い物 身だしなみ・座り方 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の整理（たたみ方しまい方） 清掃（用具の使い方） 買い物（自動販売機・決まった額） 洗濯（洗濯機・手洗い） 身だしなみ（季節に合った） 	<ul style="list-style-type: none"> 給食・掃除・着替え 持ち物の整理 下校 リサイクル作業 組立・木工・縫工・畑作業 		
	（運動機能） （自立活動）	<ul style="list-style-type: none"> 集団行動 かけっこ リレー ボール運動 水泳・スキー サーキット・動物あるき 	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム 縄跳び ラジオ体操 短距離走 器械運動 ボールを使った簡単なゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な動きを組み合わせる運動 用具を操作する運動 柔軟体操・ペアストレッチ ろく木、雲梯ぶら下がり 腕立て・上体起こし・手押し車 ランニング・ダンス・球技等 	<ul style="list-style-type: none"> 整列 体ほぐし運動 力強い運動 体力テスト 動きを持続する能力を高める運動 体の柔らかさを高める運動 		

3. スタートカリキュラムの実際

日課と学習内容(4月～5月) * 1年かけて学校を知ることが基本のため、1年生は準備期です

	時期	日課	主な学習内容		時期	日課	主な学習内容
入学式	1日目	2時間授業	学活：入学式に出よう 「がっこうのせいかつ」～トイレ・水飲み場、 挨拶・返事の仕方、座り方、列で歩く 靴箱の使い方	始 動 期	3週目～ 連休前	4時間授業 +給食	国語：学習準備の仕方、勉強の仕方、読み聞かせ 算数：学習準備の仕方、勉強の仕方 かず 生活単元：着替え・生活のきまり 生活：「がっこうたんけん」 「がっこうの人となかよくなるよう」 音楽：「かもつれっしゃ」 「さんぽ」「校歌」 「1年生を迎える会に向けて」 体育：並び方、歩き方、 「どうぶつあるき」「サーキット」 自立：歩行学習 道徳：「いのちをまもる」 学活：「1年生を迎える会の準備」 行事：交通安全教室「交差点の歩き方」
	2日目～ 3週目	3時間授業	国語：学習準備の仕方、読み聞かせ 「なまえをかこう」 「おはなしたくさんききたいな」 生活単元：着替え・生活のきまり 生活：「がっこうのせいかつ」～トイレ・水飲み場、 ロッカーの使い方、挨拶・返事の仕方 お便りのしまい方、靴箱の使い方 学習用具の出し入れ 「新入生を迎える会」 自己紹介・みんなとあそぼう 音楽：「手遊びをしよう」(リトミック) 「さんぽ」「校歌」 図工：「貼り絵」・クレヨンをつかって 体育：並び方、集団遊び「うごきづくり」 道徳：人権について 自立：歩行学習 学活：学校のきまり、休み時間の過ごし方、 体育館の使い方 行事：「二計測」「視力・聴力検査」 「内科検診」				準 備 期
入学期						火曜日	
						6時間授業	

主体的な学びを育む * 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できない授業もあります。

人とのつながり

アイヌ文化交流
(地域の人と)



交通安全教室



安心

和太鼓交流



読み聞かせ(司書)



複数指導

チームティーチング指導



介助員(ヘルパー)



安心や楽しさが生まれる
環境づくりと支援体制

異学年交流

小中合同英語(ハロウィン)



成長

中学生が先生(職場体験)



学習環境

個に応じた教材



活動や体験を通して、自信や意欲が
生まれる学びの場

自ら学ぶ

JRの乗り方を知る



自立

全校のつどい(小・中)



北栄小との交流(全校)



確かな生活力を(会食指導)



協力・責任感

奉仕活動(小・中)



雑巾がけの練習



自分で判断し、行動できるように
自立に向かう活動場面を設定

小学部の新学期について

小学校では明るく楽しい学校生活を送るためにも、次のことについてご協力・ご理解をお願いします。

現在、感染予防のため歯磨き、フッ化物洗口は中止しています。また、毎朝健康調査票（検温・健康観察）への記入の協力をお願いしています。

1. 服装について

登校後、各自が用意したジャージ等に着替え、下校時には登校時に着てきた服に着替え下校します。清潔で活動しやすい服装をお願いします。校内で着る服装については、特に決まりはありませんが、毎日体を動かす学習がありますので、運動に適した服装が望ましいです。（着替えは運動時の安全を考え、体育のときはフードのないものをご用意下さい。ヘアピンも同様に飾りのない物をお願いします。）

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、登下校を含め学校ではマスクをすることになっています。マスクが苦手なお子さんには、常に言葉かけをしてマスクをすることの必要性を伝え着用を促しています。

※お子さんが自分で脱着、畳むことができることが目標です。ピタッとした服装やサイズの合わない服、総柄で前後が分からないものなどは避けるようにしてください。

2. 持ち物について（毎日持ってくるもの）

- ・筆入れ（鉛筆・消しゴムなど）
- ・ハンカチ、ちり紙
- ・予備のマスク（カバンに入れておいて下さい）
- ・給食用エプロン※、帽子（三角巾）、おしぼり、箸※と箸箱、←これらを入れる給食袋

※エプロンのひも、ボタン、マジックテープなどはお子さんの実態に合ったものが望ましいです（できるだけ自分で身につけられるもの。）

※給食の箸は、お子さんの実態に応じて持たせてください。

- ・連絡ノート とクリアケース（学校で準備します）

3. 準備するもの（学校に置いておくもの）

＜週の始めに持ってきて、週末に持ち帰るもの＞

- ・着替え（体育のときはフード付き以外）
- ・手ふきタオル
- ・体育帽子
- ・着替えの服を包む風呂敷※
- ・着替えを入れて持ち帰る時の布袋やバッグ

※風呂敷は自分で結びます（かた結び⇒蝶結び）。小さめの風呂敷は結びづらいことがありますので、着替えが入るくらいの風呂敷の準備をお願いします。

＜学校に置いておき、夏・冬休み前に持ち帰るもの＞

- ・予備の着替え一式（上下の服、アンダーシャツ、パンツ、靴下）
- ・上靴
- ・コップ
- ・図工用スモック
- ・その他各担任の指示によるもの

＜学校で教育活動費から一括購入する物＞

・ 道具箱 ・ クーピーペンシル ・ クレヨン ・ 工作板 ・ のり（スティック） ・ 体育帽子 ・ なわとび

※はさみは一括購入しませんので、各家庭で用意してください（使いやすいもの）

※学校には必要のないものは持って来ないことになっています（キーホルダーなど）。

髪型は中学校のきまりに準じています（染色・ツープロック禁止など）。また、光る靴やローラーのついている靴なども禁止です。

※教科で使う材料などの費用は、学校で一括して集める教育活動費の中から支出します。

4. 記名について

持ち物には、必ず名前をつけて下さい。（特に下着や靴下もお願いします）

5. 登校時刻について

8時15分～25分が登校時間になります。8時25分からは、授業がスタートしますので、登校時間を守って下さい。

※児童生徒玄関は8時15分まで施錠されています。

6. 下校について

下校時刻は、学級通信を確認して下さい。お迎えは、遅れないようお願いします。

また下校に際して、ガイドヘルパーさんを利用する場合や、バスの利用の有無など、連絡ノート等で確実に担任にお知らせください（変更する日がある場合も忘れずに）。

なお、個人情報の保護のため、学童・ガイドヘルパーさんには学級通信を渡しておりません。保護者の方から下校時刻をお知らせして下さい。

7. 欠席、遅刻、早退等について

必ず事前に連絡されるようお願いいたします。（電話、連絡ノート、口頭など）

※電話連絡は、8時～8時10分頃は職員打ち合わせですので、この時間は避けて下さい。

8. スクールバスについて

・登校のスクールバスは、学校生活に慣れてから利用することが望ましいです。

⇒5月から利用できます。

- 4月中のお迎えは保護者がガイドヘルパーさんをお願いします。
- お子さんの安全確保のため、利用するためにはバス停までの保護者の送迎が必要です。
- お子さんが欠席（朝のうちに）・早退等でバスを利用しない場合はご家庭の方からバス会社へ必ず連絡してください。

9. 給食のカットについて

運動会や遠足等、給食を食べない行事では、延期に備えての予備日も給食はありません。

予備日はお弁当を用意していただきます。

※お弁当の他、水筒も用意してください。中身は水・お茶をお願いします。

※お弁当のかわりに、学級で調理学習を行ったり、外食指導で近くのお店に行ったりすることもあります。いずれの場合も学級通信などで事前に連絡をします。

10. 薬について

学校に内服薬や外用薬（点眼剤・なんこう剤・うがい薬など）を持たせる場合は、毎回、投薬連絡票（後日配付）でその旨をお知らせください。

薬については学校では用意しておりません。内服薬は自分で飲めることができるものを持たせるようにして下さい。

（PTA総会で説明致します。）

参考資料



左から 帽子（三角巾） 給食用エプロン おしぼりとおしぼりケース 箸と箸箱 これらを入れる給食袋

※おしぼりは、濡らして絞る練習を行いますので、乾いたままおしぼりケースに入れて下さい。

※帽子は色々なタイプがあります。後ろで結ぶものは難しいと思います。

※エプロンのひも、ボタン、マジックテープなどはお子さんの実態に合ったものにして下さい。スモック（かっぽうぎ）タイプは着やすく、汚れを防ぎやすいです。

※まだ箸が使えないお子さんはスプーンやフォークなどでもかまいません。補助ばし（エジソンばしなどタイプがいくつかあります）を使用しているお子さんもいます。担任と相談して下さい。

※おしぼりケースはお子さんが開けやすいもの、給食袋は布地（口）がしっかりしているものが出し入れしやすいです。

いずれも購入時にお子さんが自分で出来るかよく吟味して下さい。また、2セット用意し毎日洗濯して交互に持たせると衛生的でよいかと思います。



登校後着替えをします。着替えが包めるような風呂敷を用意してください（大きくて柔らかいもの）



※対角線上にアップリケなどをつけて目印にしているご家庭もあります。

小学部 教育課程

教育課程は、小学校学習指導要領、特別支援学校小学部学習指導要領、及び、管内の教育課程を参考にしながら、児童の発達段階の実態をふまえて編成されています。学校での学習や生活はグループ（学級）単位で分けられて、児童の生活年齢や学習の課題、また個々の特性や興味・関心、そして個別の指導計画を考慮し編成されるとともに、グループごとに各教科の指導内容（学級経営案、年間指導計画、個別の指導計画）やその形態も学年単独や学級が合同で行うなど、それらのことを考慮して編成実施しています。

（１）各教科の学習

各教科のねらいや特性を大切に、個々の児童の実態にそった題材や課題の設定を行って、広い視点で学習を行っています。

（２）総合的な学習

３年生以上の児童に、校外での活動や外部から講師を招くなど実際の体験や社会の体験を豊かにすることを大切にしながら実施しています。

（３）領域別の指導

①自立活動

○時間を設けての指導（日課表に位置づけ）

- ・「うごきづくり」（小学校全体学習）
- ・「日常生活の指導」（学級又は個別の学習）

○全教育活動の中での指導

*個別の指導計画

- ・中心課題と各領域の課題を保護者と共通理解をはかりながら計画を作成し、実行しています。

②特別活動

クラブ活動 個々の希望に沿って、５・６年生が行っています。今年度は２つのクラブを予定しています。

委員会活動 ５・６年生と中学生が行います。代表・放送・体育の３つの委員会と、児童・生徒会があります。

③交流教育

「開かれた学校づくり」の視点で、家庭や地域の人たちの理解・協力を得ることをねらうことや、居住地の学校と交流し、地域での理解を進め経験を広めるための交流を推進しています。

<行事を通しての交流>

1. 北栄小との交流会 北栄小の通常学級と特別支援学級との交流。
2. 東小交流 東小を訪ね、発表やゲームで交流を深めます。

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 3. 駒里小交流 | 勇舞すこやか公園で一緒に活動をして交流を深めます。 |
| 4. 支笏湖小交流 | 6年生が修学旅行で支笏湖小を訪問し交流をします。 |
| 5. 和太鼓交流 | 千歳在住の和太鼓のチームに叩き方を教えてもらい、相互発表で交流を実施。 |
| 6. 学芸発表会 | 関係機関の多くの方々が見えられます。 |

*「教育の質の保障」として、令和4年度に感染拡大防止を配慮した上で実施した交流教育

- 千歳高校吹奏楽部との交流 千歳高校の吹奏楽部の演奏を鑑賞し生徒に楽器の鳴らし方を教えてもらうなど相互発表を含めた交流。

<生活基盤充実に向けた居住区校との交流>

- ・居住地校交流 各児童が住んでいる地域の小中学校との交流。

<中学生との交流>

- ・登下校や学校生活、児童生徒会、行事等での交流など縦割りの活動をしています。

(4) その他

- ・合同学習 … 学級編成上、同じ学年でもクラスが分かれています。しかし、行事によっては学年が一緒になって活動する機会があります。修学旅行や地域防災交流学習等の事前学習で、学年で一緒に学習を行なっています。
- ・体験学習 … 学校選択等の理由により児童の在籍校や保護者の意向を受け、本校の受け入れ状況を考慮しながら、回数、時間を設定して行っている。また逆に、地域の一般学級への体験学習を行える場合もあります。中学進学の際には希望により保護者の方の見学も実施しています。
- ・進路情報 … 進路情報の説明会、PTAの施設見学や学習会で学びながら、保護者の理解を図っていきます。進路の学習会は、7月に実施されます。中学校の進学のための説明会は、9月にあります。ご参加ください。
(令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校では資料の配布、中学校は希望者のみ11月に説明会を実施。)
- ・教育相談 … 保護者の方の子育てについての悩みや関わり方についての相談、医療や各種機関の紹介を行います。また、通常学級の教師や本校や他校の保護者の相談に応じ、見学や体験入学などを随時行っています。

(5) スキー学習

冬の体力作りとして、グラウンドで歩くスキーに体育で取り組んでいます。板、ポール、靴は学校にあるものを使いますので、用意されなくて結構です。

(6) 教科書について

新1年生につきましては、通常学級で使用する文部科学省検定済教科書を配布します。この教科書については6年間使用する場合もありますので、進級後

も大切に保管してください。また2年生以上の学年には、学校教育法附則9条に定める教科書（検定教科書以外の本で絵本などを含む）を文科省からもらっています。お子さん一人一人の実態に合わない事もあるのですが、その教科書を使って指導するだけではなく、各担任がそれぞれの学級のお子さんにあった、自作教材を用いたり、学校の教具・教材を使ったりしながら、授業をしています。もし、学校以外で、ご家庭で学習をする時に問題集として使ってみたいなどということで、通常該当学年で使用している教科書を手元に欲しいという場合は、申しわけありませんが、実費にて購入していただく形になりますので、ご理解ください。何かあれば担任にも相談してください。

(7) 連絡ノートについて

小学校の担任には空き時間というものがありません。各担任は指導をしながらもちょっとのすきにノートを書いている実情です。少しでもノートにその日のお子さんの様子を記してお知らせしたいところなのですが、人数も増えてくると難しいです。こちらからは書けない日もあるかもしれませんが、ご了解下さい。また、ご家庭で何か尋ねたいことがありましたら、電話でもノートでも「このことについて教えて下さい。」とポイントを伝えて下さい。お答えしていきたいと思います。即答できない事柄は、少し時間をいただくこともあります。

なお、連絡ノートをご覧になりましたら確認のサインをお願いします。

(8) グループ学習について

体育、うごきづくりはグループ学習を行います。児童の実態を把握し、学習課題や各児童の良さ、興味関心を考えながら指導計画やグループ編成をしています。

(9) よりよい指導、成長のために

北進小で教育活動にあたる私たちが日頃心がけ、また保護者のみなさんとも共通理解の上で進めていきたいことがあります。

清潔・衛生

学校では活動後にいつも手洗いをしておりますが、今日的な状況からご家庭でも手洗い

の徹底を習慣化できるようにお願い致します。

疾病を持っているお子さんもいて、日頃から感染に注意しています。また、同じ服を着続けたり、爪が伸びていても気にしていない子など、衛生面では自分から訴えられなかったり、無頓着だったりします。学校でも気をつけていますが、各家庭でみてあげる必要があります。

障がいの特性を理解する

なかなかできないこと、どうしてもできないことがそれぞれあるのが、障がいです。怒るだけでは、できるようにはなりません。放っておいては、見て覚えるということもできません。やりたいことだけさせておくと、「許されるのだ」と思われて、後で直そうとしても思うようには受け入れなくなります。

どういう手立てだと、指導したいことを受け入れやすいか、お子さんの障がいの特性をよく理解しておかなければなりません。

将来の姿・身につけておく力

将来はお子さんに、どこで、どんな生活をさせたいでしょうか。そのために、どこの中学・高校に進学させたいでしょうか。ぜひ今のうちから、様々な進路先の情報を集めていただきたいと思います。そして逆算して、そのための身辺自立、学力を身につけさせていく指導が必要になります。北進中では進路に向けて、高等支援学校の活動を念頭においた教科学習を行っています。大半の児童が北進中に進学するので、北進小では中学の指導を考慮し、少ない支援で身辺自立と活動への自律ある取り組みが行えるよう、段階的に成長に見合った指導を行っています。

今必要な指導

これらを考え、現在のお子さんに必要な指導を、具体的に組み立てていきます。担任だけではなく、保護者のみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。5月に話し合いを持つ「個別の指導計画」には、今年度の指導方針を盛り込んでいきます。

お子さんに見合った教育を求めて、転入される方、転出される方がいらっしゃいます。入学してからも子どもの実態に応じて、最善の活動を用意し、選択していくようにしましょう。その際には、それぞれの役割に応じで学校が全面的にサポートしていきます。

入学前にこんな準備を・・・

① お返事と、あいさつ 必要なことを話す

- ・呼ばれたら「はい」と返事する。
- ・あいさつをする。「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」
- ・**「わからない」「できない」と言える。**
- ・困ったことがあったら、自分から大人に話す。合図をする。

② みじたく

- ・**立ったまま、くつを脱ぐ。立ったまま、くつをはく。**
- ・一人でスキーウェアが着られる。
- ・カッパの着脱は、**立ったまま**、一人でできる。できない時は「手伝って下さい。」と言う。
- ・**自分で5本指の手袋がはける。冬の間に練習をしましょう。**



③ トイレの正しい使い方

- ・順番を守り、ドアを開けて用便ができる。
- ・手を洗い、ハンカチでふく。(ハンカチ、ちり紙を毎日持たせて下さい。)
- ・**和式も洋式も、誰かと一緒に使えらるるよう。**(学校には両方あります)
- ・使った後に**必ず水を流す。**(学校は自動に流れません)

④ バスでのマナーを守る

- ・スクールバスを使用します。座って乗って居られるようにしましょう。
- ・バスの中では立ち歩かず、静かに乗れる。

⑤ 早寝・早起き・朝ごはん

- ・毎日、朝ごはんを食べるようにしましょう。(授業に集中出来るように)
(お子さんによっては、なかなかご飯が食べられない場合があります。
そんな時はご相談下さい。)

⑥ 睡眠時間を決める。

- ・8時から9時までには寝る。(ご家庭によっては多少前後すると思いますが目安として)
(子どもは10時間の睡眠が必要です。体調管理の基本です。)
- ・**7時には起きる。**
(8時までには登校するには、遅くても7時の起床を習慣にしましょう。)

⑦ 横断歩道を渡る

- ・大人の指示を聞いて、一緒に横断歩道を渡ることが出来る。
- ・冬道を歩くことが出来る。
- ・除雪車やトラックなど大きな乗り物があっても怖がらずに歩道を歩くことが出来る。

ご相談・お問い合わせ・連絡先 TEL23-3439 FAX23-9780

千歳市立北進小中学校 教頭 杉原大樹、教務部 設楽 美香